



TITLE:

表紙・編集後記・目次・裏表紙ほか

AUTHOR(S):

---

CITATION:

表紙・編集後記・目次・裏表紙ほか. 物性研究 2010, 93(6)

ISSUE DATE:

2010-03-05

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/169251>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可  
平成22年3月5日発行(毎月1回5日発行)  
物 性 研 究 第93巻 第6号

ISSN 0525-2997

**vol.93      no.6**

# 物性研究

**2010 / 3**

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行いません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不適当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 「物性研究」に掲載される論文の著作権は、物性研究刊行会に帰属することとします。但し、著者が著作物を使用することをさまたげるものではありません。
4. 本誌の論文を欧文の論文中で引用する時には、Bussei Kenkyu 90 (2008), 1. のように引用して下さい。

#### [原稿作成要領]

1. 原稿は、原則として日本語に限ります。
2. 投稿原稿は2部提出して下さい。但し、研究会報告は1部で結構です。
3. 別刷を希望の場合は、投稿の際に、50部以上10部単位で、注文部数・別刷送付先・請求先を明記の上、お申し込み下さい。別刷代金については、刊行会までお問い合わせ下さい。
4. 原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。
  - 1) 用紙はA4を縦に使用。(印刷はB5になります。縮小率86%)
  - 2) マージンは、上下各約3cm、左右各約2.5cm。1ページに本文34行、1行に全角文字で42字程度にして下さい。
  - 3) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、本文との間に受理日を入れるので、余白を少しあけて下さい。
  - 4) 図や表は本文中の該当個所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
  - 5) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
5. 研究会報告の作成要領については、物性研究ホームページをご覧ください。か、刊行会までお問い合わせ下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町  
京都大学 湯川記念館内  
物性研究刊行会

Tel. (075)722-3540, 753-7051

Fax. (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

## 編集後記

寒い日が続いております。当初は暖冬の予想だったそうですが、はずれてしまいました。昨年末、欧米では数十年ぶりの大寒波だったようで、読者の皆様の中にも大変な苦労をされた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。レベルの違う話だとは分かっていますが、地球温暖化という言葉が普段耳にしていると、今年は昨年よりも暖かいのだろうなあといつ錯覚してしまいます。気候の予測は本当に難しいのでしょう。

ポスト京都議定書の先行きは不透明なままではありますが、地球温暖化は地球に住むものにとって将来にわたる深刻な問題の一つであるのは間違いありません。以前、地球温暖化は人類活動が原因ではないと研究され、いくつか著書を書かれている方の話を直接聞く機会がありました。そのときは少し感化されてもしましたが、反対に二酸化炭素などが原因ではないと実証されたわけではありませんので、現時点で減らそうと努めることは我々にとって必要なことなのだろうと思っています。私が何か言えるような簡単なことではないのは分かっていますが、アメリカなどの振る舞いには将来の不安を覚えなくもありません。他にもエコを謳い文句にしているだけで、意味があることをやっているのか分からないような企業の経営に疑問も残ります。

”今の地球温暖化は長期変動の範囲内のことで、将来の心配はありません。でも、エネルギーも限りがあるからエコには努めましょう。”となってくれるとありがたいのですが、あまりにも楽観的でしょうかね。できることは限られていますので、まずは帰るときには照明とエアコンは忘れずに消して帰るようにしないと。

(T. A.)



## 〔物性研究〕

### 編集長

村瀬 雅俊 (京大・基研)

### 編集委員

荒木 武昭 (京大・理・物理)  
高橋 義朗 (京大・理・物理)  
武末 真二 (京大・理・物理)  
松本 剛 (京大・理・物理)  
吉村 一良 (京大・理・化学)  
遠山 貴己 (京大・基研)  
戸塚 圭介 (京大・基研)  
早川 尚男 (京大・基研)  
森成 隆夫 (京大・基研)  
和田 浩史 (京大・基研)

### 各地編集委員

柳田 達雄 (北大・電子研)  
泉田 渉 (東北大・理・物理)  
川口 由紀 (東大・理・物理)  
波多野 恭弘 (東大・地震研)  
笹本 智弘 (千葉大・理・数学・情報数理)  
柳瀬 陽一 (新潟大・理・物理)  
樋口 雅彦 (信州大・理・物理)  
小西 哲郎 (名大・理・物理)  
湯川 諭 (阪大・理・宇宙地球)  
狐崎 創 (奈良女大・理・物理)  
水島 健 (岡大・理・物理)  
柴田 達夫 (広大・理・数理分子生命)  
坂口 英継 (九大・総理工・量子プロセス)  
関本 謙 (Paris 第7大学・物理)  
大木谷 耕司 (Sheffield 大学・応用数学)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

---

物 性 研 究 第 93 卷第 6 号 (平成 22 年 3 月号) 2010 年 3 月 5 日発行

発行人 村 瀬 雅 俊

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町  
京都大学湯川記念館内

印刷所 中西印刷株式会社

〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入ル

発行所 物性研究刊行会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町  
京都大学湯川記念館内

年額 19,200 円

---

## 会員規定

### 個人会員

#### 1. 会 費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお振込み下さい。

**年会費 9,600円**

1st Volume (4月号～9月号)

2nd Volume (10月号～3月号)

振替用紙は毎年2月号にとじ込んであります。振替用紙が必要な場合は、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

**郵便振替口座 01010-6-5312**

#### 2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

#### 3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、すぐにご連絡下さい。

#### 4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく1年以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご注意下さい。

### 機関会員

#### 1. 会 費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円**です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類（請求、見積、納品書）が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

#### 2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

**雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に下記までご連絡下さい。**

## 物 性 研 究 刊 行 会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学 湯川記念館内

電話 (075)722-3540, 753-7051

FAX (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

物 性 研 究 93-6 (3月号) 目 次

○講義ノート

「第54回 物性若手夏の学校 (2009年度)」 ..... 713

○編集後記 ..... 973

○目 録 (Vol. 92, 93) ..... 975